

I C T実践シート 小学部②

観点	コミュニケーション支援 ・ 活動支援 ・ 学習支援
目的・実態	<ul style="list-style-type: none"> ・ III類型の児童。 ・ 発語がない児童の簡単なコミュニケーション手段として使用する。
方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色々なスイッチに触れて、音を出す経験を重ねる。 ・ 録音機能付きスイッチに、「こんにちは」という声を入れ、挨拶時に促すようにする。 ・ 6月より自立活動の時間に実施。
成果（有効だった点／児童生徒の変容等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ スイッチを押すと音が鳴るという因果関係を理解して触れるようになった。 ・ 「こんにちは」と録音されたスイッチを介して、担任以外の大人や友達との関わりを広げることができた。 ・ 携帯扇風機、オルゴール、電動シャボン玉機など色々なスイッチの操作に慣れ、遊びの幅が広がった。
課題・改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 録音機能付きのスイッチを使うことには慣れたものの、コミュニケーション手段として使用するには、気分や相手に左右されることもあり、難しい面があった。 ・ 手指の巧緻性が高いことから、小さいスイッチを自作しても良かった。



スイッチを押して友達に挨拶



押すとオルゴールが流れるスイッチ